



学習指導案 (第3次 第21時)

授業のねらい	課題別に追究して調べた結果を、クラス全員に対してプレゼンテーションソフトを使用して発表する前に、二つずつのグループ間で相互に見せ合い、より分かりやすいプレゼンができるように修正・改善・練習する時間である。 具体的に、各グループごとのパソコンの画面を利用してプレゼンテーションする。そして、評価カードを利用しながら相互評価し、それを元に話し合い、修正ポイントを明確にすることで、その後の練習を効果的にするものと考えた。		
本時の目標	二つずつのグループ間で相互にプレゼンテーションし合うことで評価し、自分達のプレゼンを見直し、より分かりやすい説明ができるよう工夫できる。		
	児童の活動	指導上の留意点	準備物
	1 先生から、この授業のねらいや流れについて説明を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> お互いに発表し合い、より分かりやすいプレゼンテーションができるようにしましょう。(相互評価) </div> 2 プレゼンテーションをする際、どんな点に気をつければよいか、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言いたいことを簡潔に ・ 聞き取りやすい速さで ・ はっきり大きな声で 3 グループごとに「わくわくまるちらんど」を使ってプレゼンテーションの練習をする。	1 本時のねらい以外にプレゼンを発表し合うグループの組み合わせや、時間配分について説明する。 2 プレゼンテーションをする時のポイントについて、児童の発表に合わせて準備したカードを提示する。 3 プレゼンテーションのポイントを考へて練習している児童や友達に適切なアドバイスをしている児童を称揚する。	カード プレゼンテーションソフト「わくわくまるちらんど」 評価カード
	4 二つずつのグループがプレゼンテーションをする側と聞く側を交互に役割分担し発表を行い、評価し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価カードに記入し相手グループに渡す。 5 グループで協力して、指摘されたプレゼンの画面を修正したり話し方の練習をしたりする。	4 評価する際、話し方だけでなく、プレゼンテーション資料の画面の文字の大きさや色が適切か、また分かりやすい言葉で説明してあるかという観点からも評価するよう助言する。 5 画像を別のものと替えたり、文字の色や大きさを変えたりする際、できるだけグループ内で教え合い活発になるよう促しながら作業できるよう見守る。	
	6 代表の1グループだけプロジェクトを使って発表し、実際の発表のイメージ作りをする。	6 机間指導の際、プレゼンの画面が見やすく聞き手に分かりやすい発表をしているグループを選んでおく。 次時の授業の流れについて説明する。	プロジェクト